

平成 31 年度 永田みなみ台公園こどもログハウス事業計画書

みなみ区民利用施設協会

基本方針

第 3 期指定管理者の応募提案内容を踏まえ、業務の効率化、人員の適正配置、光熱水の適正使用など管理コストの削減を図るとともに、これまでの実績や経験を活かして、安全・安心な管理を最優先に考えて運営してまいりました。30 年 4 月からは毎月テーマを決めて折り紙を作る「おり紙で遊ぼう」を新たに始めました。8 月には静かな部屋にクーラーを設置、1 月には和式トイレを洋式にし、安全快適な環境を整えています。

31 年度は、引き続き提案内容を踏まえ、「自由に集い、遊びを通じて成長できる場、また、幼児と親のふれあいの場や青少年の健全育成を推進する場」という施設の設置理念を念頭に置き、次のように取り組んでいきます。

第一に、お客様には「おもてなしの心」で接し、子どもや保護者が安全・安心のもと、創造性豊かにかつ自由闊達に遊べるよう、施設・設備の安全管理に努めます。

第二に、これまでと同様に安定した運営体制や『子ども達と一緒に楽しむ・取り組む』という姿勢で臨むとともに、自主事業においては、前年度にも増して内容を充実させ、お客様の満足度アップを図っていきます。

第三には、お客様は勿論地域の方々とのコミュニケーションを大切にして、様々なツールによるニーズの把握に努め、サービス・利便性の向上など施設の運営・管理や事業活動に反映していきます。

また、今年から毎週金曜日に子育て相談「ママと子のホッとタイム」を開催し、子育て支援を推進していきます。

1 施設の運営

- ① 施設運営に当たっては、誰にでも公平・公正な対応をいたします。おもてなしの心を持ち、お客様の立場に立った思いやりのある接遇を行います。
- ② お客様への声掛けを積極的に行うとともに、ご意見に耳を傾け多様化するニーズの把握・収集に努め、敏感に反応することでより質の高いサービスの提供につなげます。
- ③ 施設で行う事業の案内や周辺情報の提供など情報サービスの充実に努めるとともに、様々な広報活動を通じて、認知度をより高めることでお客様の数をアップさせ、満足度の向上も図ります。
- ④ 催しによる近隣小学校の代休日が月曜日になる場合があります。小学生に施設をより一層利用していただくために今年 4 月から、休館日を今までの第三月曜日から第三火曜日にいたします。

2 施設の管理

- ① 安全・安心・快適
 - ・施設の管理については、子ども達の安全・安心を第一と考え、業務の効率化と業務水準の向上を安定的に実現できるよう、職員による日常的な確認・改善を行います。子ども達の行動にもできる限り目を配ります。
 - ・快適に利用していただくために、整理整頓や清掃を徹底し、常に清潔で心地よい環境といたします。
 - ・昨年度よりプレイルームに暑さ指数測定計（WBGT 計測）や温湿度計を設置しています。遊んでいるときに、値を確認することで、給水・休息の目安とし、熱中症予防に役立てます。
- ② 省エネ
 - 節電の意識で照明及び電気器具類等の使用をこまめに確認し電源を切るとともに、節水にも心がけるなど光熱水費の削減に努め、地球温暖化防止に取り組みます。
- ③ コストの削減
 - 施設の清掃や小さな修繕など日常業務の中で職員が行い、身近なことからコスト削減を図ります。また、このことで、常に安全で清潔な施設を維持します。

3 自主事業

これまで以上に多くの子ども達に集まっていただけのように、より楽しく魅力的な自主事業を提供していきます。南区の未来を担う子ども達の記念や思い出となる事業を企画し、社会生活におけるルールやマナーも学びながら創造力を豊かにし、友達作りにもつながるような内容とします。

また、ホームページやチラシのほかポスターの掲出など地域の協力も得ながら、わかりやすい広報に努め、できるだけ多くの子ども達が参加できるようにしていきます。

4 個人情報保護の徹底

お客様から個人情報を取得することが多くあります。取得の目的をお知らせするとともに、取得や利用は業務上最小限とします。また、不要となった個人情報は速やかに適切な方法で処分します。職員には、業務上知り得た個人情報の守秘義務があります。個人情報保護の研修を行い、守秘義務を周知徹底します。

5 職員研修

職員は、その業務を遂行する上で、さまざまな業務に応じた能力が求められます。年間研修計画に基づき行う採用時研修、全職員対象の全体研修及び施設で行う個別研修を通じ、徹底した個人情報保護、人権感覚の向上、人命救助の推進、接遇のレベルアップ及び職員間の協調・連携・協力の重要性等職務上必要な能力を習得して協会職員の資質向上を図り、円滑な業務運営を行います。

6 その他の取り組み

お客様のニーズと意見を把握するため、アンケートを実施するとともに常設のご意見箱のご意見にも積極的に応えていきます。

また、南区子育てもっとネット会議やエリア別虐待防止連絡会議に参加し、区内関係機関や地域と連携を図りながら子育て支援に取り組みます。

NO	募集対象	事業名 (タイトル)	新規	開催 時期	開催 回数	参加人員		自主事業収支			1人 あたり 参加 費用	講師謝金		諸経費	備 考 共催団体 講師名等
						募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料 支出額	参加者 負担額	総経費		謝金額 /1回	1事業 謝金額		
		合 計	0		38	1,430	0	95,000	0	95,000			0	95,000	
1	未就学児と保護者	お話おばあちゃんと遊ぼう		4~3月	9	90		3,000	0	3,000	0			3,000	
2	未就学児と保護者	「こどもの部屋」出張お話し会		5~3月	6	60		12,000	0	12,000	0			12,000	
3	小学生以下	おり紙で遊ぼう		4~3月	12	120		2,000	0	2,000	0			2,000	
4	小学生以下	「こいのぼりを作ろう」		4月	1	150		1,000	0	1,000	0			1,000	
5	どなたでも	ミニゲーム大会		6月	1	100		3,000	0	3,000	0			3,000	
6	どなたでも	七夕飾り		7月	1	200		1,000	0	1,000	0			1,000	
7	小学生以下	工作教室		7月	1	30		2,000	0	2,000	0			2,000	
8	成人	応急手当		9月	1	20		2,000	0	2,000	0			2,000	六ツ川消防出張所
9	小学生以下	ハロウィン		10月	1	200		22,000	0	22,000	0			22,000	
10	小学生以下	ガラス窓に絵を描こう		12月	1	80		5,000	0	5,000	0			5,000	永田ふれあいフェスティバル
11	小学生以下	クリスマス会		12月	1	150		37,000	0	37,000	0			37,000	
12	小学生以下	お正月遊び		1月	1	100		3,000	0	3,000	0			3,000	
13	小学生以下	鬼のお面作り		2月	1	30		1,000	0	1,000	0			1,000	
14	どなたでも	さくらの花を咲かそう		3月	1	100		1,000	0	1,000	0			1,000	

NO	事業名 (タイトル)	内容
1	お話おばあちゃんと遊ぼう	お話を通して小さなころからコミュニケーション力を養います。
2	「こどもの部屋」出張お話会	お話を通して小さなころからコミュニケーション力を養います。
3	折り紙で遊ぼう	月ごとにテーマを決め折り紙を折ります。
4	「こいのぼりを作ろう」	カードに手形を押してもらい 鯉の鱗に見立てて大きな鯉のぼりを作り、館内に掲示します。
5	ミニゲーム大会	いくつかのゲームをみんなで楽しめます。
6	七夕飾り	一人一枚、短冊に願いを書いて大きな竹につるします。
7	工作教室	工作を通して創造力と集中力を養います。
8	応急手当	幼児向けの応急手当のやり方を消防署員から学びます。
9	ハロウィン	スタンプラリーをして魔女からキャンディをもらう。カラービニール袋を利用したハロウィンの衣装を着て仮装を楽しむ。
10	ガラス窓に絵を描こう	普段はできない落書き、ログハウスの窓に自由に絵を描きます。
11	クリスマス会	子供から大人までみんなで一緒に楽しめるイベント。
12	お正月遊び	コマ回しや羽根つき、福笑いなどお正月にちなんだ遊びを楽しみます。
13	鬼のお面作り	厚紙に描いた鬼の絵を切り取って、お面づくり。ストラックアウトも楽しむ。
14	さくらの花を咲かそう	さくらの花びらのカードに応援メッセージを書いて壁面に貼りつける。

平成31年度 「永田みなみ台公園こどもログハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	7,893,000		7,893,000		7,893,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（ ）			0		0	
収入合計	8,893,000	0	8,893,000	0	8,893,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	6,341,000	0	6,341,000	0	6,341,000	
給与・賃金	6,200,000		6,200,000		6,200,000	
社会保険料	15,000		15,000		15,000	
通勤手当	56,000		56,000		56,000	
健康診断費	70,000		70,000		70,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	737,000	0	737,000	0	737,000	
旅費	0		0		0	
消耗品費	320,000		320,000		320,000	
会議ठी費	3,000		3,000		3,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	96,000		96,000		96,000	
使用料及び賃借料	264,000	0	264,000	0	264,000	
横浜市への支払分	222,000		222,000		222,000	
その他	42,000		42,000		42,000	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	30,000		30,000		30,000	
施設賠償責任保険	2,000		2,000		2,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料			0		0	
手数料	6,000		6,000		6,000	
地域協力費	6,000		6,000		6,000	
事業費	95,000	0	95,000	0	95,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	95,000		95,000		95,000	
自主事業費			0		0	
管理費	611,000	0	611,000	0	611,000	
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	345,000		345,000		345,000	
修繕費	70,000		70,000		70,000	
機械警備費	196,000		196,000		196,000	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
公租公課	400,000	0	400,000	0	400,000	
事業所税			0		0	
消費税	400,000		400,000		400,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	709,000	0	709,000	0	709,000	
本部分	652,000		652,000		652,000	施設の指定管理料及び人件費等で本部経費を按分
当該施設分	57,000		57,000		57,000	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	8,893,000	0	8,893,000	0	8,893,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		